

回覧

発行責任 六会地区自治会連合会
連絡先 六会市民センター ☎81-6677

柏崎市北条地区と訪問交流会を行う！

<はじめに>

新潟県柏崎市北条地区と六会地区との交流は、平成21年から始まり(平成24年に『地域間交流のための覚書』を締結)、毎年交互に訪問し防災等の情報交換と親睦を深めて参りました。

本年は六会地区が訪問する年に当たり、10月6日(金)に、新潟県中越地震(2004年10月23日)で最も被害を受けた長岡市山古志地区を訪れ、その災害と教訓を学びました。

翌日は、第14回柏崎刈羽地域植樹育樹祭に参加し、北条地区の方々との親睦を深めました。(六会地区防災リーダー連絡会協賛)

加藤会長あいさつ



記念標柱



北条&六会地区両会長植樹



六会地区植樹育樹祭に参加



北条中学生と共に植樹



北条中学生“よさこい踊り”



<第14回柏崎刈羽地域植樹育樹祭>

2日目は、雨の予報でしたが、雲の切れ間が見える中、柏崎駅前のホテルを8時30分に出発、バスで山道を北東に約20分登った高台にある柏崎市の一般廃棄物最終処分場(エコグリーン夏渡)管理棟前で開催された「第14回柏崎刈羽地域植樹育樹祭」に参加しました。

山林に囲まれた場所ですが、皆が自由に訪れることができる「落葉広葉樹の森をつくろう」の呼びかけで、小中学生、地域の方々約220人が集まり、「ブナ」「ケヤキ」「コナラ」の苗を100本全員で植樹しました。

植え付け後、小中学生による吹奏楽、北条の「いいところ紹介」、「よさこい踊り」等のアトラクションがあり、12時に閉会しました。

【六会から(旧)山古志村木籠集落へ】

参加者27名、バスで六会出発、途中渋滞もなく、中越防災安全機構筑紫氏の震災後の苦勞話を聞きながら木籠集落へ。

<木籠メモリアルパーク>

山の崩落によって、川が堰き止められ、震災ダムによって木籠集落が水没し、家屋が土砂に埋まったままで残されている(存置)状況を視察し、当時のテレビ映像を思い出しました。

震災後14世帯となった住民がお休み所として「郷味庵」を運営し、来訪者との交流を進めています。

<やまこし復興交流館おらたる>

中越地震の被害状況と復旧・復興の歩みを展示した施設で、「おらたる」とは方言で「私たちの場所」だそうです。

展示スペースでは、地域が経験したことを住民の証言と写真のパネルで構成されていて、震災発生、全村避難、仮設住宅での生活、復興へと山の暮らしの再生に向けた記録の順に展示がなされ、当時の状況がよくわかりました。

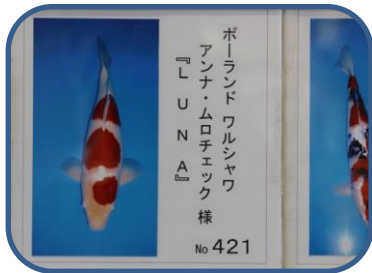
可愛いアルパカの子



<山古志アルパカ牧場>

山古志の震災復興のためにできたアルパカ牧場、可愛い顔に癒されます。震災後贈られた3頭から約80頭に増え、大多数はリースで復興の一役を担っています。

某番組で話題に(管理鯉)



<そなえ館>

おぢや震災ミュージアム「そなえ館」です。3D映像と震動が一体となってリアルに再現した中越地震のすごさを体験しました。

手作りランチ“美味！”



<錦鯉の里>

錦鯉発祥の地です。江戸時代(文化・文政の頃)、食用の鯉が突然異変で色が着いたのが最初と言われています。今や海外からバイヤーが大勢買付けに来訪、地域の一大産業に発展しました。

【交流会】

一日目の夜は、北条の「藤乃家」で、北条コミュニティ、柏崎市役所、中越防災安全機構等の方々と親睦を深めました。

二日目の昼は、北条小学校に招待され、2年前の北条訪問の折、3つの「いにしえロード」のガイドをしてくれた5年生の手作りランチをご馳走になり、子ども達と楽しい時を過ごしました。

眞貝北条コミュニティ会長、瀧口北条小学校長、北条地区の関係者の皆様お世話になりました！ ありがとうございました！

◎新潟県中越地震

マグニチュード	M6.8
最大震度	7(川口町)
地震発生	2004年10月23日17時56分
死者	68人
重傷者	633人
軽傷者	4172人
家屋全壊	3175棟

新築3か月で被災(存置)



『おらたる』で学ぶ



『そなえ館』で体験

